



刊行： 2018年11月

本体： 2,100円＋税

四六判・248ページ

ISBN：978-4-491-03616-8

- 第1章 学年プロジェクト「探究のストーリー」
- 第2章 子どもたちが語る、培われる「資質・能力」
- 第3章 学年プロジェクトのカリキュラムデザイン
- 第4章 社会創生プロジェクトのデザイン
- 第5章 教科学習におけるプロジェクト型学習のカリキュラム
- 第6章 義務教育学校開設への道のり
- 第7章 教育学の側面からの学年プロジェクトの分析

教科の枠を越えて学年全体で課題解決に取り組む、複数年横断のプロジェクト型学習の取り組み。自主的、協働的に課題解決に取り組む、児童・生徒の姿勢はどのように醸成されてきたのか。9カ年の学びを見取る義務教育学校だから見えてきた、これからの小・中学校のあり方を拓くプロジェクト型学習の実践記録。

福井大学教育学部附属義務教育学校

9カ年の小中一環教育を行う、国内ではわずか2校の国立大学附属の義務教育学校。1947年に開校した福井師範学校附属中学校の流れを汲む。学校開校時から、OECD日本イノベーション教育ネットワークの研究校として、国際的な研究を取り入れた先鋭的な教育実践を推し進めている。

秋田 喜代美

東京大学大学院教育研究科教授。博士(教育学)。文部科学省、厚生労働省などの国内の行政機関の委員を歴任。OECD日本イノベーション教育ネットワーク研究統括責任者、世界授業研究会(WALS)副会長。近年の研究テーマは、幼少保連携、園内研修、授業研究など。著書、編著、訳書多数。

注文書

ご注文方法

※2022年6月更新

2022年6月現在、Amazonのプリント・オン・デマンド(POD)、及びKindle版で販売を継続しております。

下記URL、または、右記QRコードから、Amazonの商品ページをご参照ください。

URL：<https://www.amazon.co.jp/dp/B081MT5J61>

QRコード

